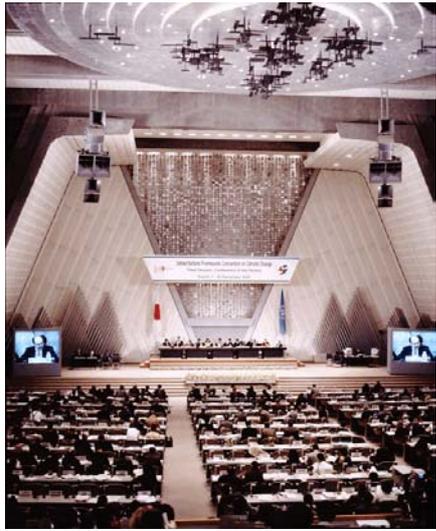


観光社会資本の事例

テーマ	国際会館の会議の歴史は日本の会議の歴史
【施設の状況写真】	
	<p>国立京都国際会館は、1966年日本で最初の国立の国際会議場として誕生しました。</p> <p>15万6,000㎡の広大な敷地内に、本館、イベントホール、アネックスホールの主要建物が設置されています。本館には大会議場をはじめ、多目的に使用可能な8会議場を含む70余の会議室を備えています。</p>
【施設の利用写真】	
	
<p>庭園では、花火大会や園遊会などが開催されます。</p>	<p>1997年12月、地球温暖化防止京都会議が開催されました。(写真は大会議場)</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>京都駅から地下鉄烏丸線で国際会館駅まで、約20分という時間で行ける距離にありながら、洛北、比叡山の麓宝ヶ池畔にあり、京都の自然美につつまれています。</p> <p>広大な庭園は自由に散策をすることができ、花火大会や園遊会などが開催され、単なる会議の場としてだけでなく、色々なイベント、アトラクション等も催すことの出来る施設として活用されています。</p>	

テーマ	国際会館の会議の歴史は日本の会議の歴史
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 国立京都国際会館</p> <p>所在地 京都府京都市左京区岩倉大鷲町422</p> <p>事業名 国際会館整備事業</p> <p>事業主体 国</p> <p>事業期間 昭和41年(本館完成)</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>国立京都国際会館は、1966年に日本で最初の国立の会議施設として、オープンし数々の政府間会議をはじめ、学会、政財界の各種会議が開催されています。その中でも国際的に重要な会議も開かれ、日本での国際会議開催の場として重要な位置を占めています。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】国立京都国際会館 http://www.kich.or.jp</p>	